

MAKING POTENTIAL A REALITY

# 2023年12月期 第3四半期 決算補足説明資料(連結)

---

2023年11月14日  
シンクレイヤ株式会社  
証券コード:1724

# 2023年12月期 業績予想の修正

直近の業績、通期の見通しを踏まえ通期業績予想を修正いたしました。

	FY2023 当初予想	FY2023 修正予想	増減額	増減率	修正の理由
売上高(百万円)	13,000	10,100	▲ 2,900	▲22.3%	トータル・インテグレーション部門 ■光ファイバー敷設関連の申請業務遅れによる工期長期化(△300百万円) ■CATV局向け設備構築案件の営業活動長期化(△800百万円) 機器インテグレーション部門 ■CATV局向け通信用光端末(他社商品)の納期長期化(△400百万円) ■上記通信用光端末遅れに付随する放送用光端末の販売数量変動(△300百万円) ■通信キャリア・商社に対する下期納入案件の獲得不足(△900百万円)
営業利益(百万円)	700	430	▲ 270	▲38.6%	
経常利益(百万円)	710	450	▲ 260	▲36.6%	■売上高の当初予想修正に伴う見直し ■直近の急激な円安の進行
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	470	315	▲ 155	▲33.0%	
1株当たり 当期純利益(円)	101.29	67.89			
1株当たり 年間配当金(円)	17.00	17.00	—	—	■従来の配当予想から変更なし

前年同期比で減収減益となりました。

		前年同期比
売上高	： 7,376百万円	(▲1.8%)
営業利益	： 229百万円	(▲19.1%)
経常利益	： 265百万円	(▲18.0%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	： 174百万円	(▲13.3%)

## 売上面

工事案件数の減少に伴い減収

## 利益面

減収、工事原価率の上昇、販売費及び一般管理費の増加により減益

# 2023年12月期 第3四半期業績サマリ(財政状況)



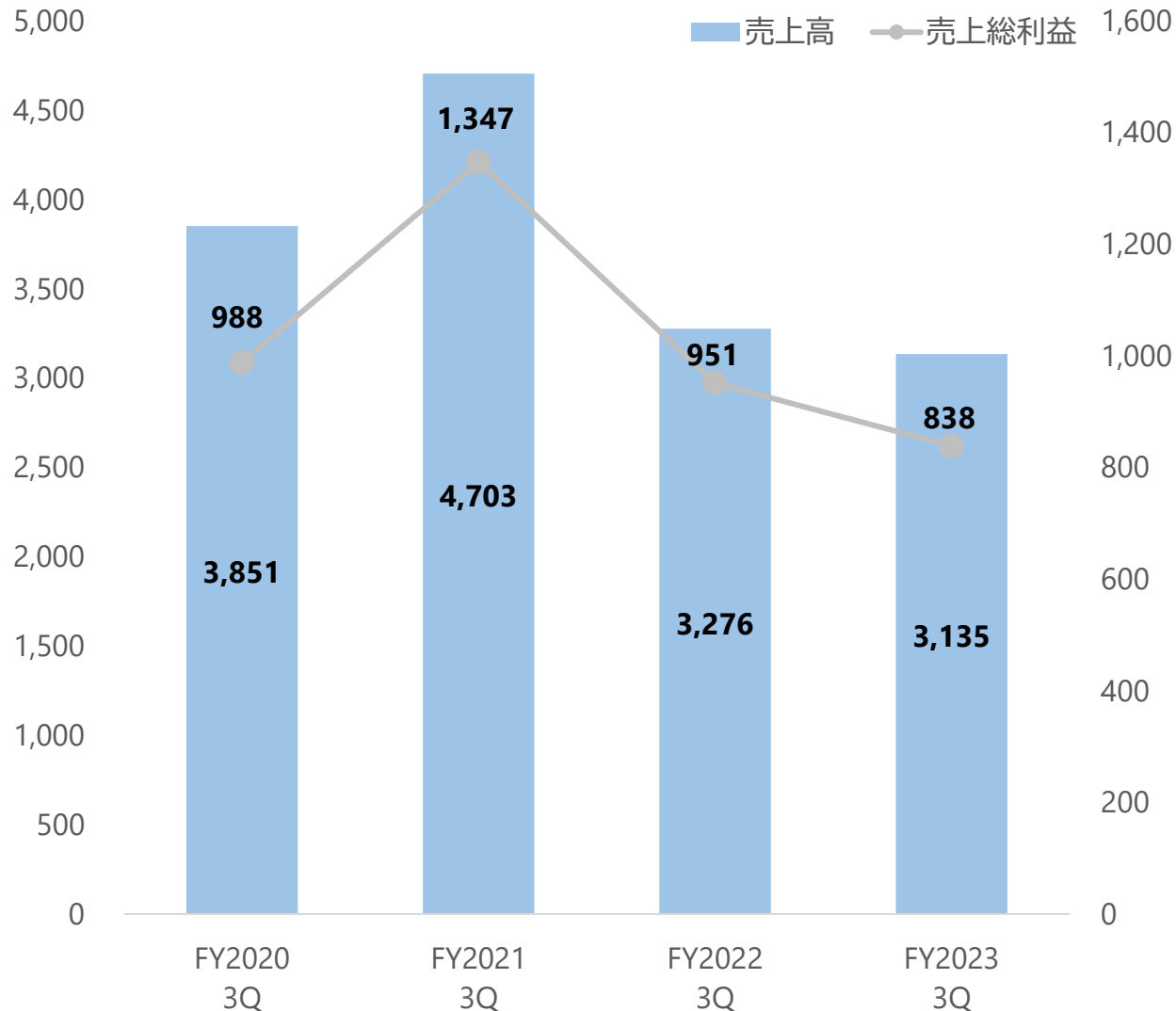
棚卸資産の削減により総資産は減少、純利益の計上により自己資本比率は向上

(単位:百万円)

	FY2022 期末	FY2023 3Q	増減	主な要因
流動資産	8,043	5,764	▲ 2,279	完成工事未収入金・商品及び製品の減少
固定資産	3,289	3,466	177	
資産合計	11,333	9,230	▲ 2,102	
流動負債	4,930	2,671	▲ 2,259	短期借入金の減少
固定負債	1,070	1,116	46	長期借入金の新規借り入れ
負債合計	6,000	3,787	▲ 2,212	
純資産合計	5,332	5,442	110	四半期純利益の計上
自己資本比率	47.1%	59.0%	11.9pt	

## FTTH、HFC工事が減少し前年同期比減収

(単位:百万円)



### 売上

主にFTTHおよびHFC工事案件数が前年同期に比して減少したことにより、売上高は3,135百万円(前年同期比4.3%減)となりました。

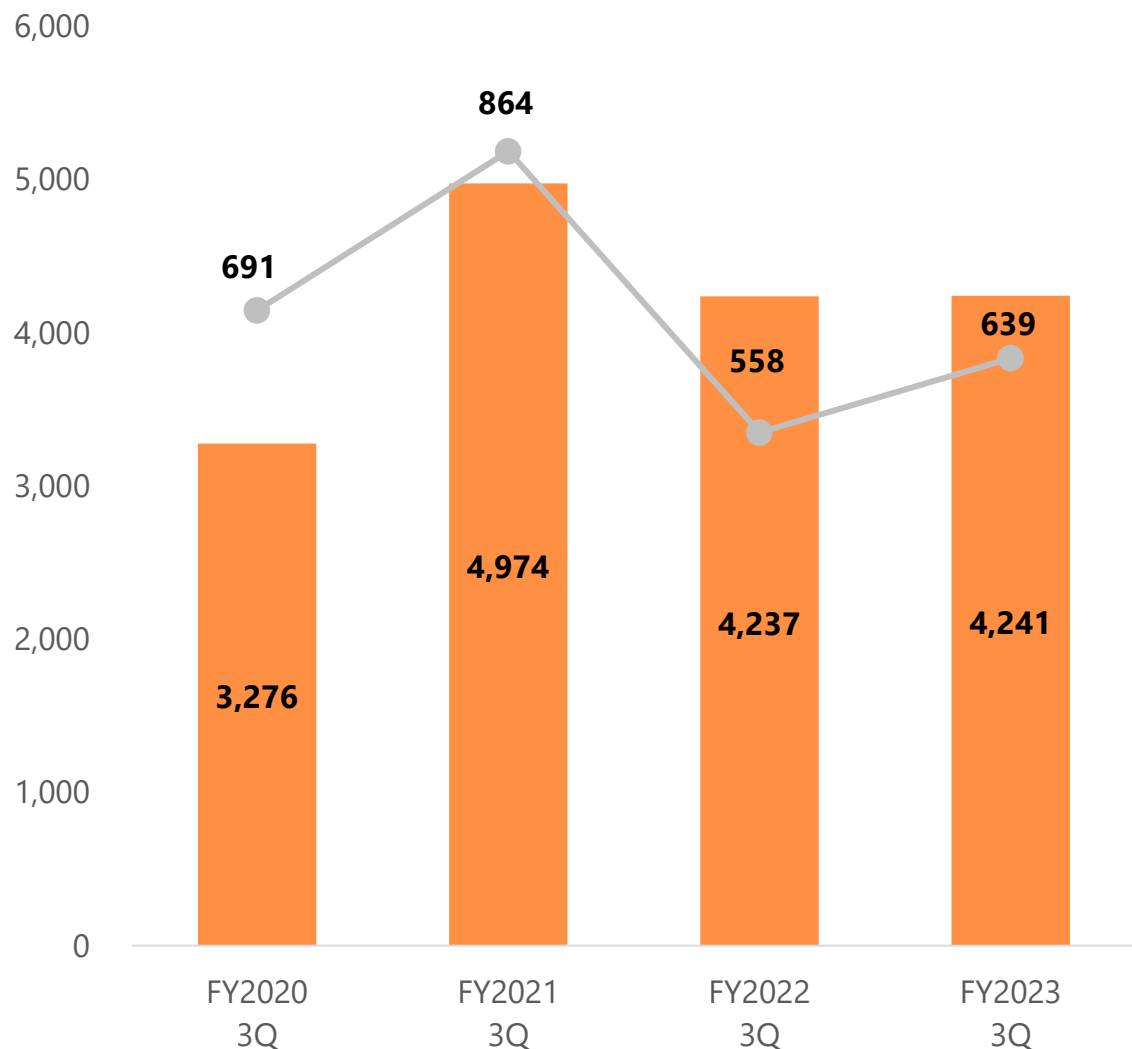
### 利益(売上総利益)

工事案件の減少に伴う減収、収益性の高い案件の割合が減少したため売上総利益は前年同期に比して減少しました。

## 各種機器の販売が堅調に推移、価格改定の効果により利益率改善

(単位:百万円)

売上高 売上総利益



### 売上

各種光端末の販売が堅調に推移し、売上高は4,241百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

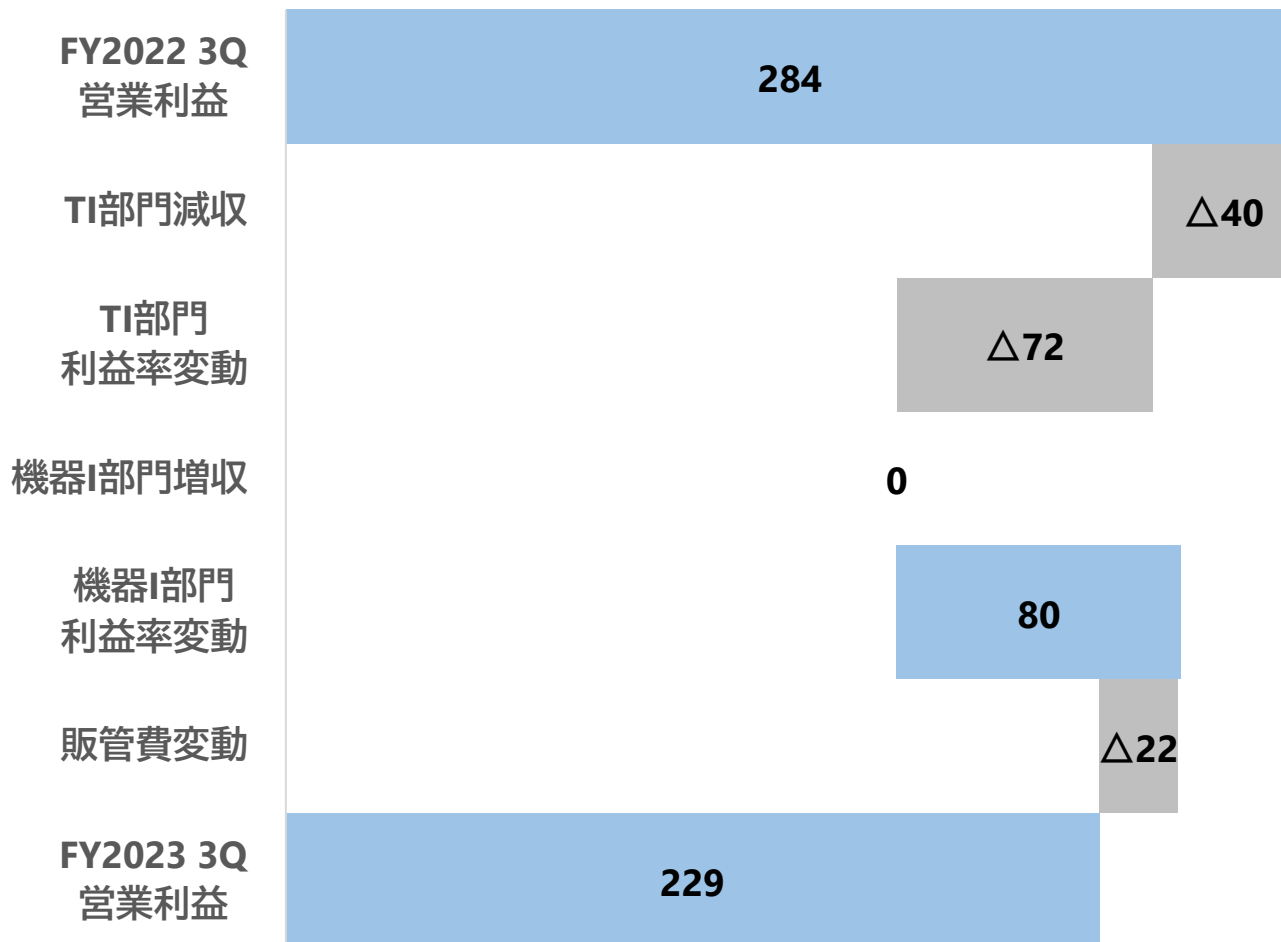
### 利益(売上総利益)

利益面では、製商品ラインアップリニューアル、価格改定により、売上総利益は前年同期に比して増加しました。

# 営業利益増減(前年同期比)

工事原価率の上昇、販管費の増加により前年同期比減益となりました。

(単位:百万円)



## 売上及び原価要因(▲32百万円)

- ・総利益率の改善(機器インテグレーション)
- ・トータルインテグレーション売上の減少
- ・総利益率の低下(トータルインテグレーション)

## 販管費要因(▲22百万円)

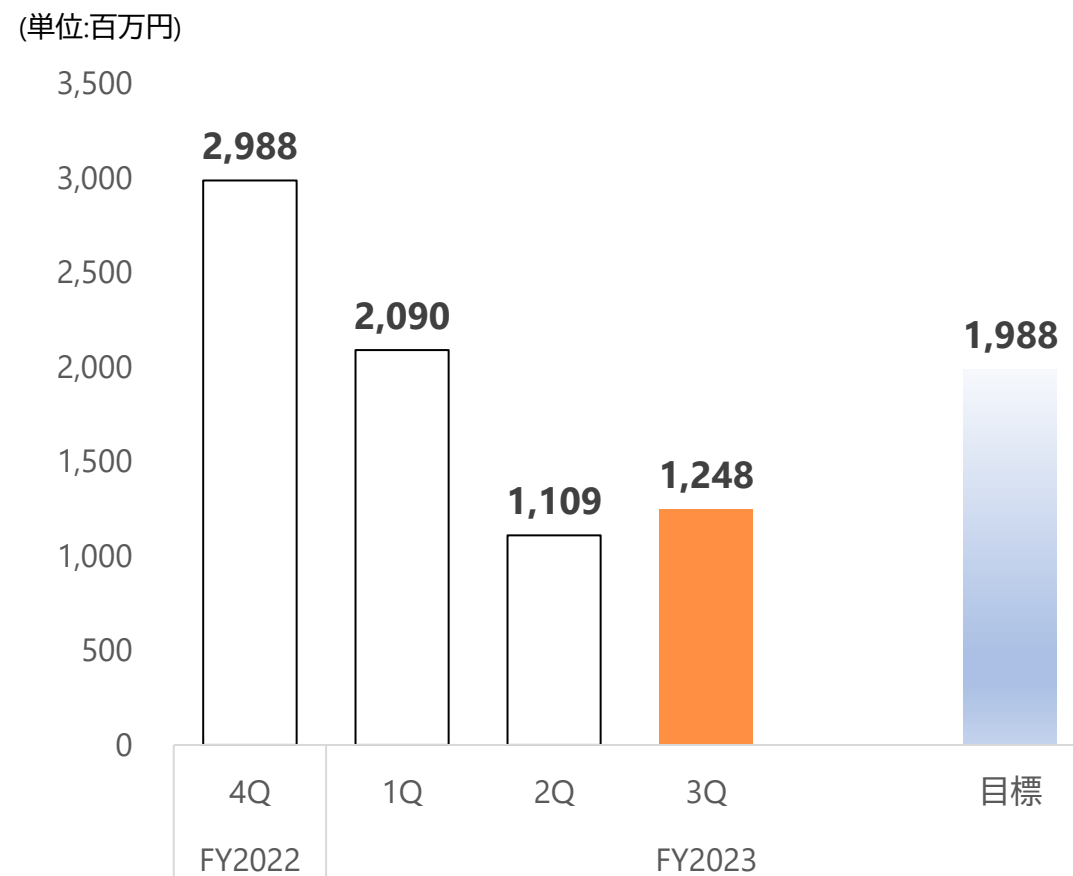
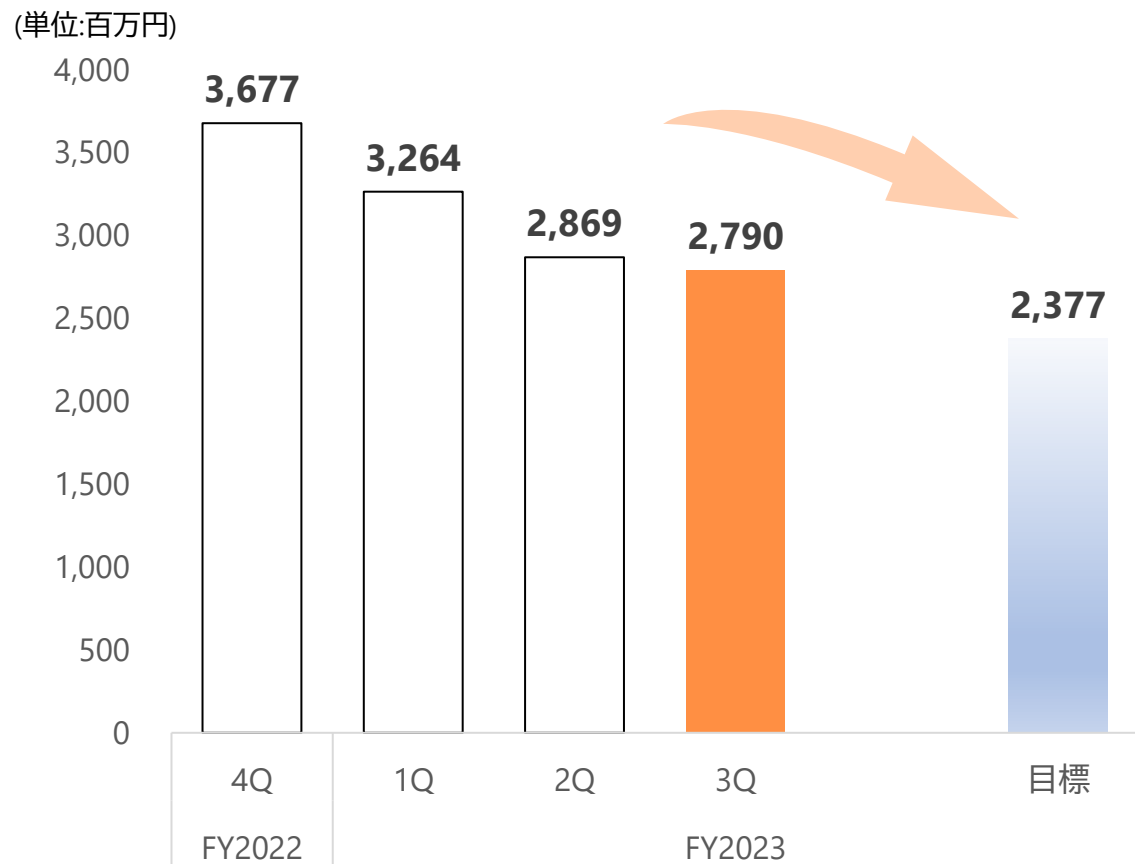
- ・人件費の増加
- ・研究開発費の増加
- ・運賃の減少(販促費)

# 効率性向上に向けた数値目標の進捗

## 棚卸資産の削減は順調に進展、借入金は目標を達成済み

**棚卸資産:**  
製商品在庫の削減により前年同期末比△887百万円

**借入金:**  
短期借入金の削減により前年同期末比△1,740百万円





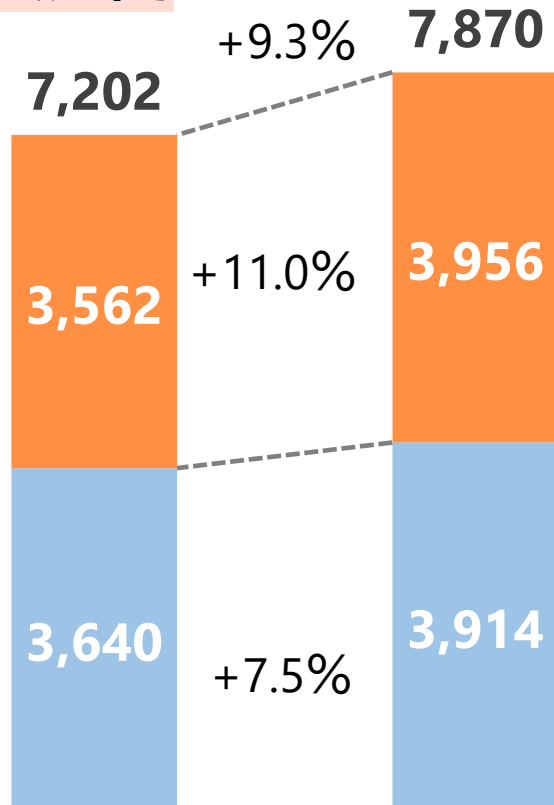
# 部門別 受注高・売上高・受注残高

受注高は前年同期比増。大型の工事案件獲得により連結受注残高は堅調に推移

- 機器インテグレーション部門
- トータル・インテグレーション部門

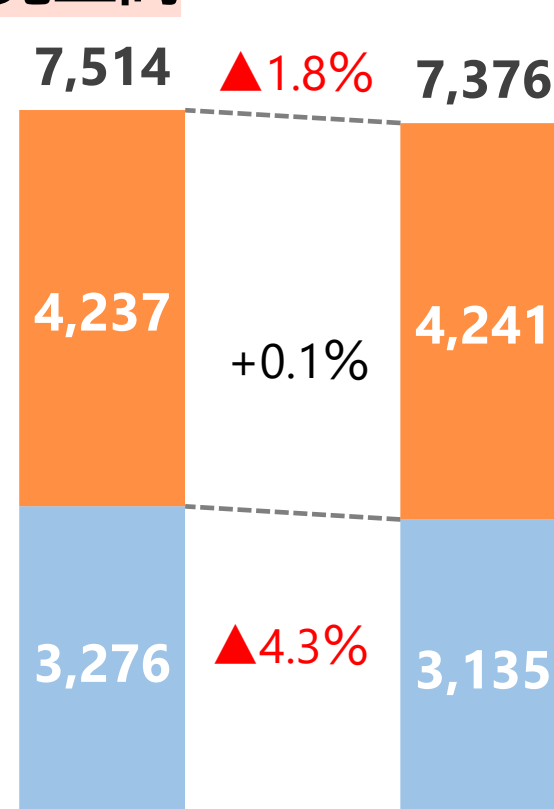
## 受注高

(単位:百万円)



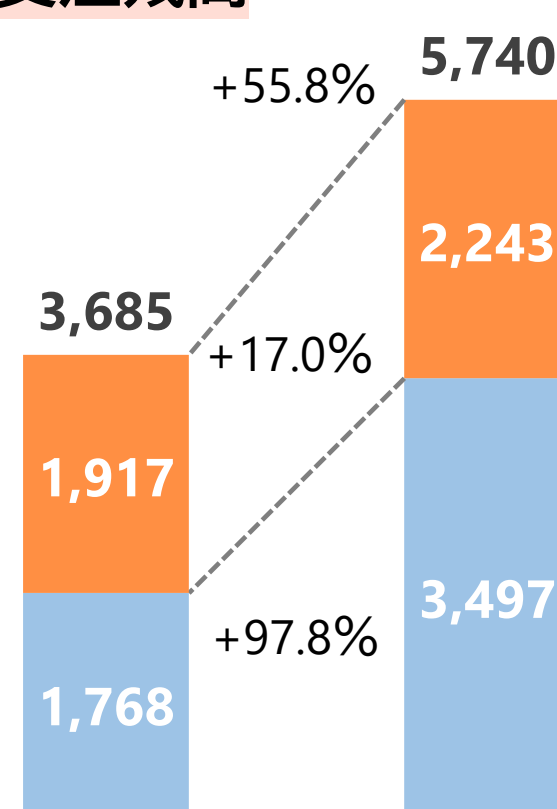
## 売上高

(単位:百万円)



## 受注残高

(単位:百万円)



FY2022  
3Q(累計)

FY2023  
3Q(累計)

FY2022  
3Q(累計)

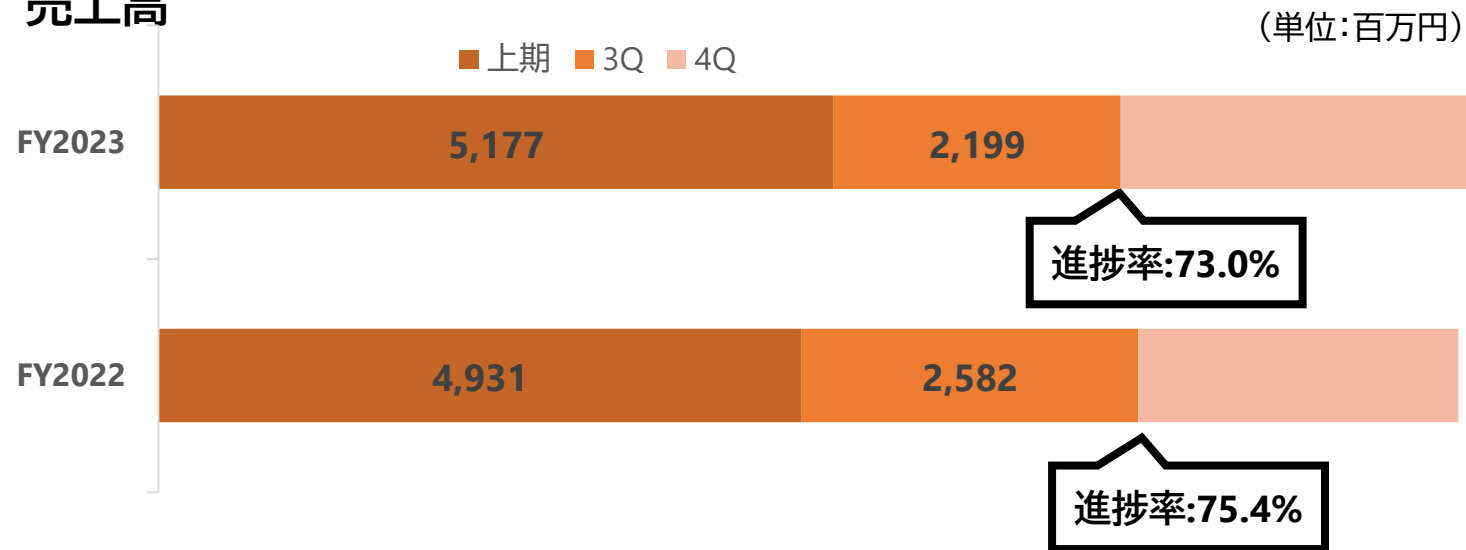
FY2023  
3Q(累計)

FY2022  
3Q(累計)

FY2023  
3Q(累計)

# 2023年12月期 第3四半期累計進捗

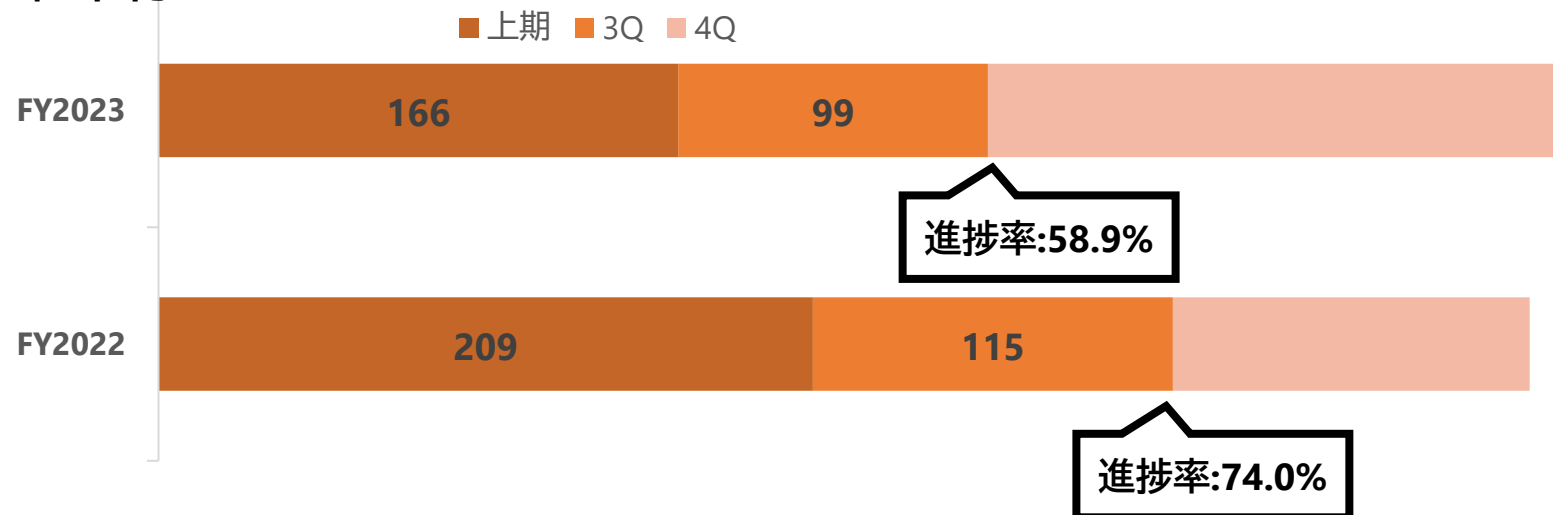
## 売上高



2023年12月期(予想)  
**10,100百万円**

2022年12月期(実績)  
**9,964百万円**

## 経常利益



2023年12月期(予想)  
**450百万円**

2022年12月期(実績)  
**438百万円**

## 当社の最新情報を配信します

当社では、投資家の皆様に当社の最新情報をお届けするため、IRニュースメールの配信をいたします。下記URLもしくはQRコードにアクセスいただき、必要情報をご入力の上、ご登録下さい。

<https://rims.tr.mufg.jp/?sn=1724>



## ホームページのご案内

シンクレイヤに関する様々な情報をホームページでご覧になれます。ホームページでは「会社概要」や「IR情報」など多くの情報を発信しています。

<https://www.synclayer.co.jp>



MAKING POTENTIAL A REALITY

GIGABIT NETWORK SOLUTION  
SYNTHETIC LAYER

# APPENDIX

## シンクレイヤ株式会社

本社 愛知県名古屋市中区千代田二丁目21番18号

設立 1962年(昭和37年)5月2日

代表者 山口 正裕(代表取締役社長)

資本金 8億3574万5393円

従業員数 170名(グループ全体326名) ※2022年12月末現在

グループ会社  
ケーブルシステム建設株式会社  
奥田電気工業株式会社  
愛知電子(中山)有限公司

事業内容  
ケーブルテレビシステム及び情報通信システム関連の設計、施工、保守及びコンサルタント  
ケーブルテレビシステム機器、情報通信システム機器及びそれらの周辺機器の製造、購入及び販売  
ケーブルテレビシステム、情報通信システムの導入に関する情報の提供、教育及び指導



1962

愛知電子株式会社を設立  
直立ユニット方式の発明

1973

株式会社愛起(現:ケーブルシステム建設株式会社)を設立

1977

可児工場完成

1981

国内初の商用CCISシステムを納入

1994

海外生産拠点として愛知電子(中山)を設立

1996

国内初の商用ケーブルインターネットシステムを納入

2002

「シンクレイヤ株式会社」へ商号変更

2003

日本証券業協会JASDAQへ上場(証券コード 1724)

2011

国内初のRFoG対応機器及び低受光型V-ONUを発表

2015

10G-EPONシステムを納入

2021

大型工事案件、機器販売の拡大により過去最高益を達成

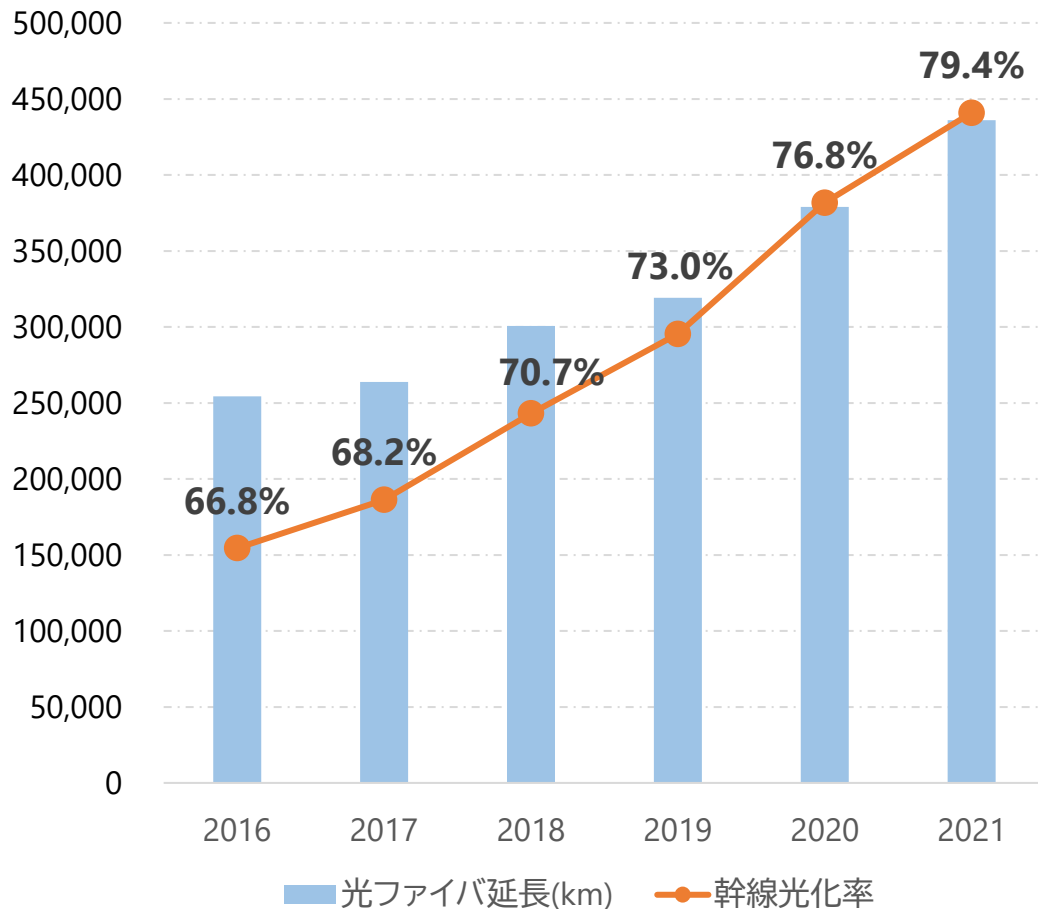
2022

ローカル5G実証実験への参画

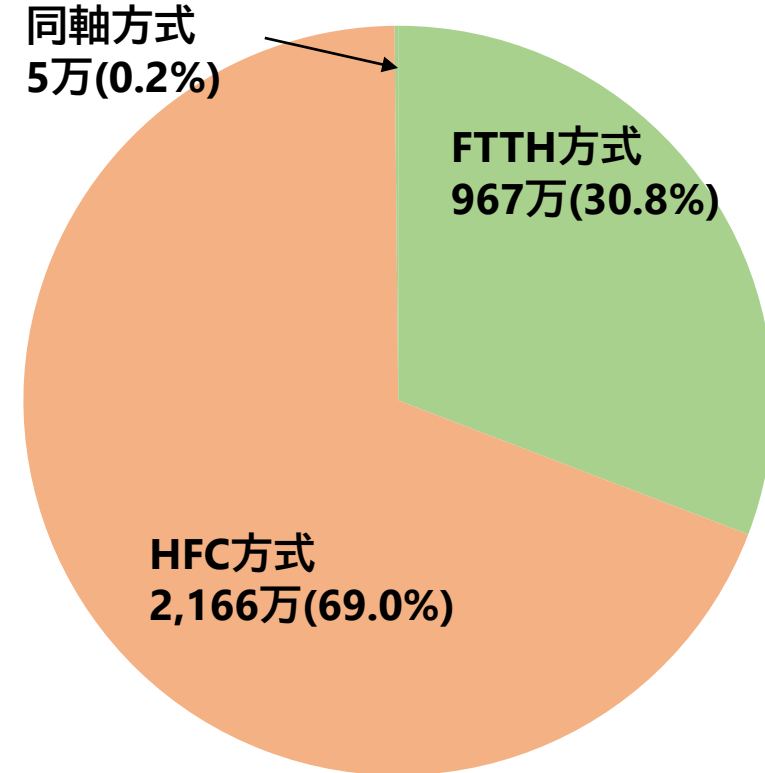
# ケーブルテレビにおける光ファイバーの整備

幹線の光化率は8割程度進展もFTTH方式で接続する世帯は3割にとどまる  
 条件不利地域での伝送路光化、都市部では集合住宅の取込ニーズ

## ケーブルテレビの幹線光化率※

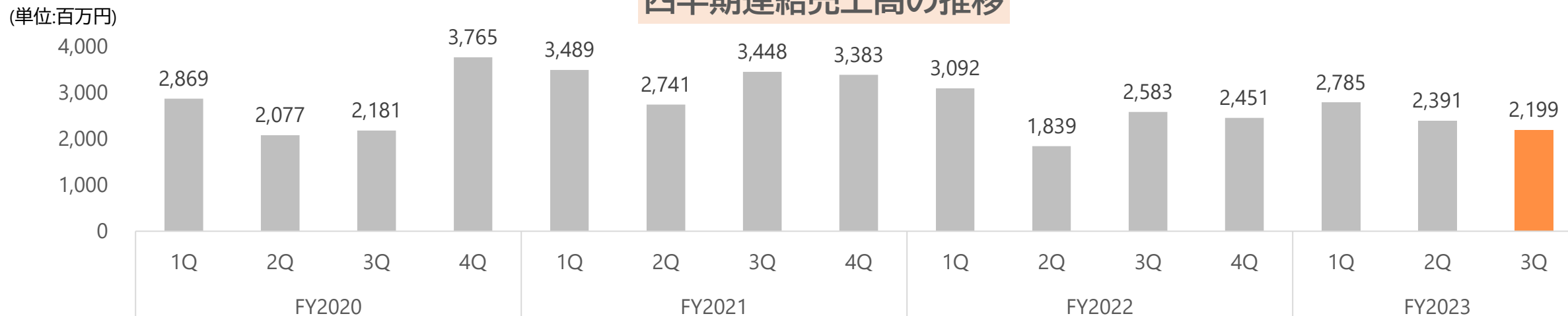


## ケーブルテレビの伝送方式(2022年3月末)※

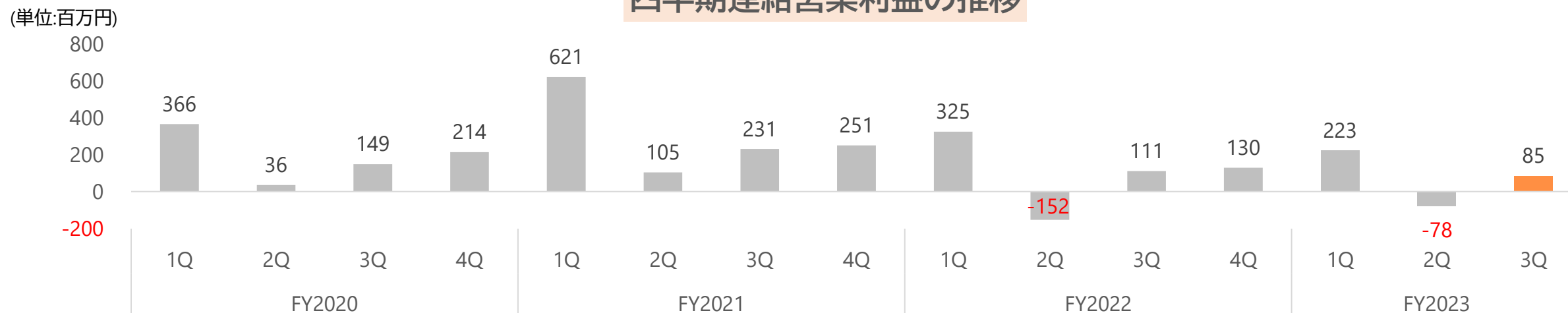


※ 総務省資料をもとに当社作成

## 四半期連結売上高の推移



## 四半期連結営業利益の推移





# 2023年12月期 第3四半期業績(指標)

	FY2022 3Q累計	FY2023 3Q累計	前年同期比 (増減額/率)
自己資本利益率 (ROE)	3.86%	3.21%	▲0.65pt
1株当たり四半期純利益 (EPS)	43.60円	37.69円	▲5.91円
1株当たり純資産 (BPS)	1,128.32円	1,172.35円	44.03円

# 2023年12月期 第3四半期 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	FY2022 3Q	FY2023 3Q	前年同期差	前年同期比
売上高	7,514	7,376	▲ 137	98.2%
売上総利益	1,510	1,477	▲ 32	97.9%
販売費及び一般管理費	1,226	1,248	22	101.8%
営業利益	284	229	▲ 54	80.9%
経常利益	324	265	▲ 58	82.0%
税金等調整前 四半期純利益	324	274	▲ 49	84.7%
法人税等合計	122	99	▲ 22	81.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	201	174	▲ 26	86.7%

# 2023年12月期 第3四半期 連結貸借対照表

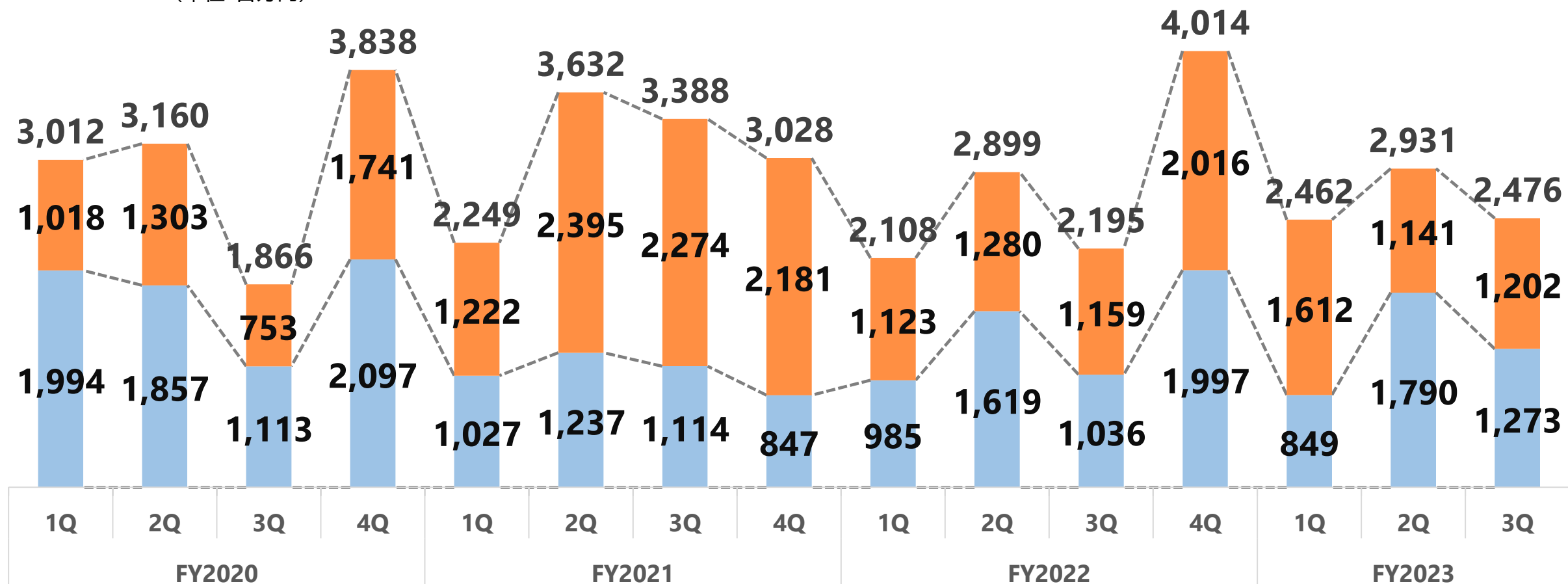
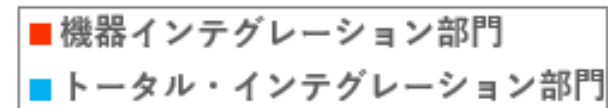
(単位:百万円)

科目	FY2022 期末	FY2023 3Q	前期差
流動資産	8,043	5,764	▲ 2,279
固定資産	3,289	3,466	177
(うち 有形固定資産)	2,246	2,498	252
(うち その他固定資産)	1,042	967	▲ 75
資産合計	11,333	9,230	▲ 2,102
流動負債	4,930	2,671	▲ 2,259
固定負債	1,070	1,116	46
負債合計	6,000	3,787	▲ 2,212
純資産合計	5,332	5,442	110
自己資本比率	47.1%	59.0%	11.9pt

# 事業部門別 受注高推移

## 受注高

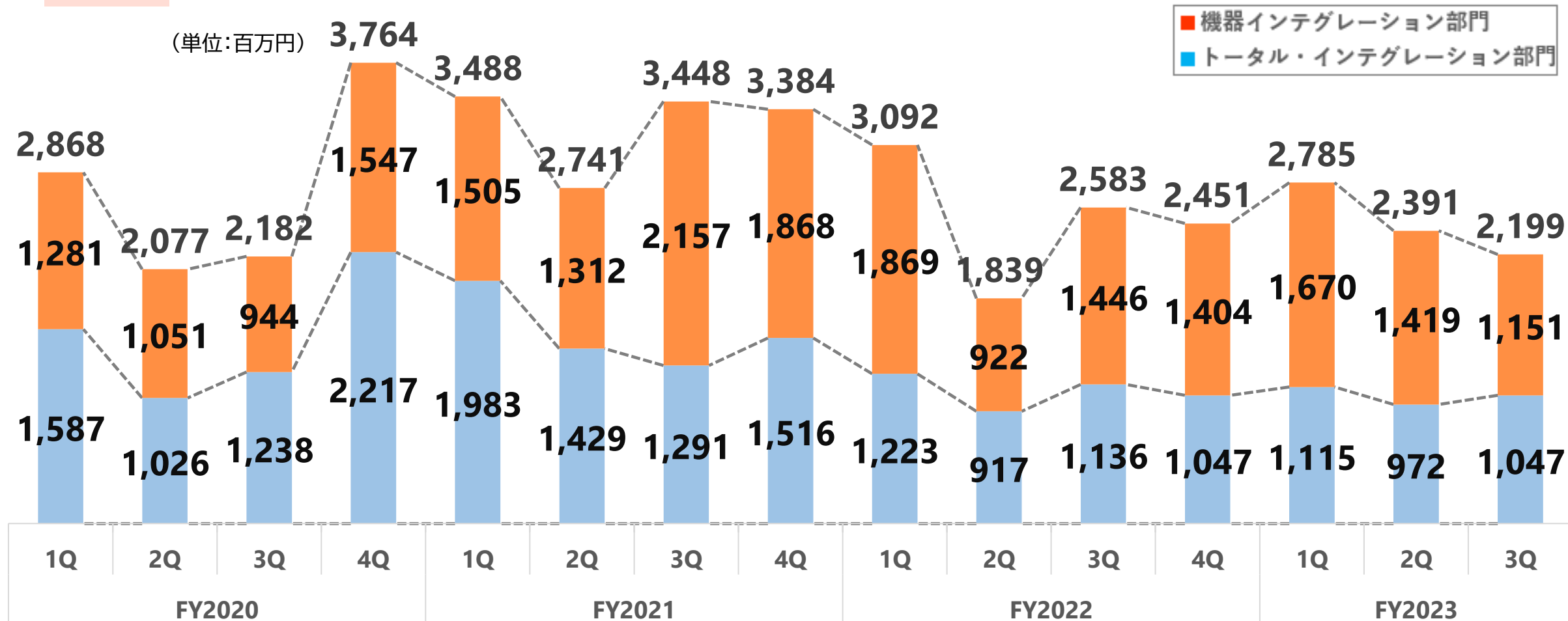
(単位:百万円)



# 事業部門別 四半期売上高推移

## 売上高

(単位:百万円)

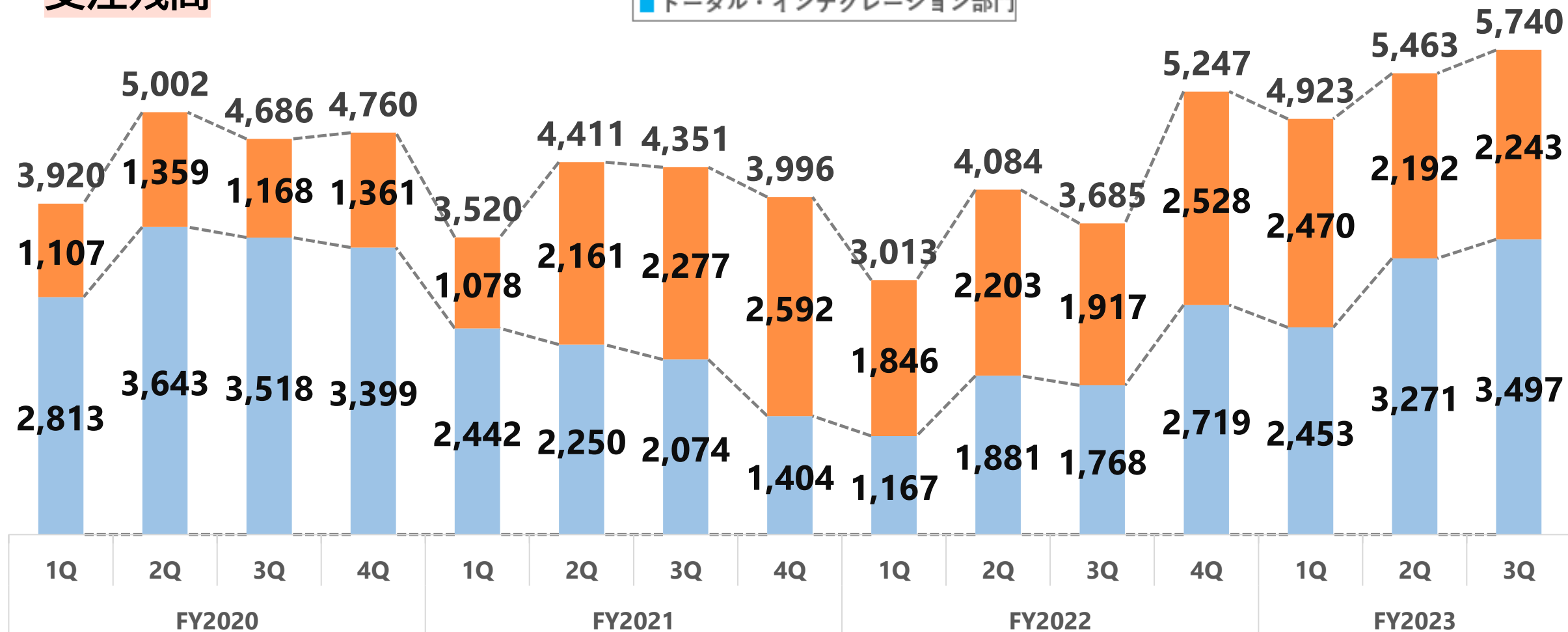


# 事業部門別 受注残高推移

## 受注残高

(単位:百万円)

- 機器インテグレーション部門
- トータル・インテグレーション部門



- ✓本資料は、投資の参考に資するため、シンクレイヤ株式会社(以下、当社)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。
- ✓本資料に記載された内容は、公表日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- ✓今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本資料に含まれる内容の更新・修正を行う義務を負うものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。
- ✓本資料に記載の数値は、別途注記がある場合を除き、全て連結で表記しております。
- ✓本資料は、提供されましたご本人様限りでご利用ください。本資料のいかなる部分についても一切の権利は当社に帰属しており、電子的もしくは機械的にまたはその他の方法を問わず、本資料の全部または一部を、無断で引用、複製または転送等により使用しないようお願いいたします。

## ■IRに関するお問合せ

MAKING POTENTIAL A REALITY

**シンクレイヤ株式会社**

**管理本部 経営企画室**

**TEL: 052-242-7875**

**E-mail: [ir@synclayer.co.jp](mailto:ir@synclayer.co.jp)**